

## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東  
 コード番号 3839 URL https://www.odk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,008	△4.6	△210	—	△186	—	△146	—
2025年3月期第1四半期	1,057	9.6	△186	—	△161	—	△123	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △163百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△17.96	—
2025年3月期第1四半期	△15.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	8,451	6,099	72.2	745.93
2025年3月期	9,253	6,304	68.1	771.02

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,099百万円 2025年3月期 6,304百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	11.2	530	2.7	580	0.6	380	44.3	46.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

\*当社業務は、大学入試業務をはじめとした年間ベースでの運用受託が中心であり、利益が下期に偏重する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	8,200,000株	2025年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	22,912株	2025年3月期	22,912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	8,177,088株	2025年3月期1Q	8,097,288株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

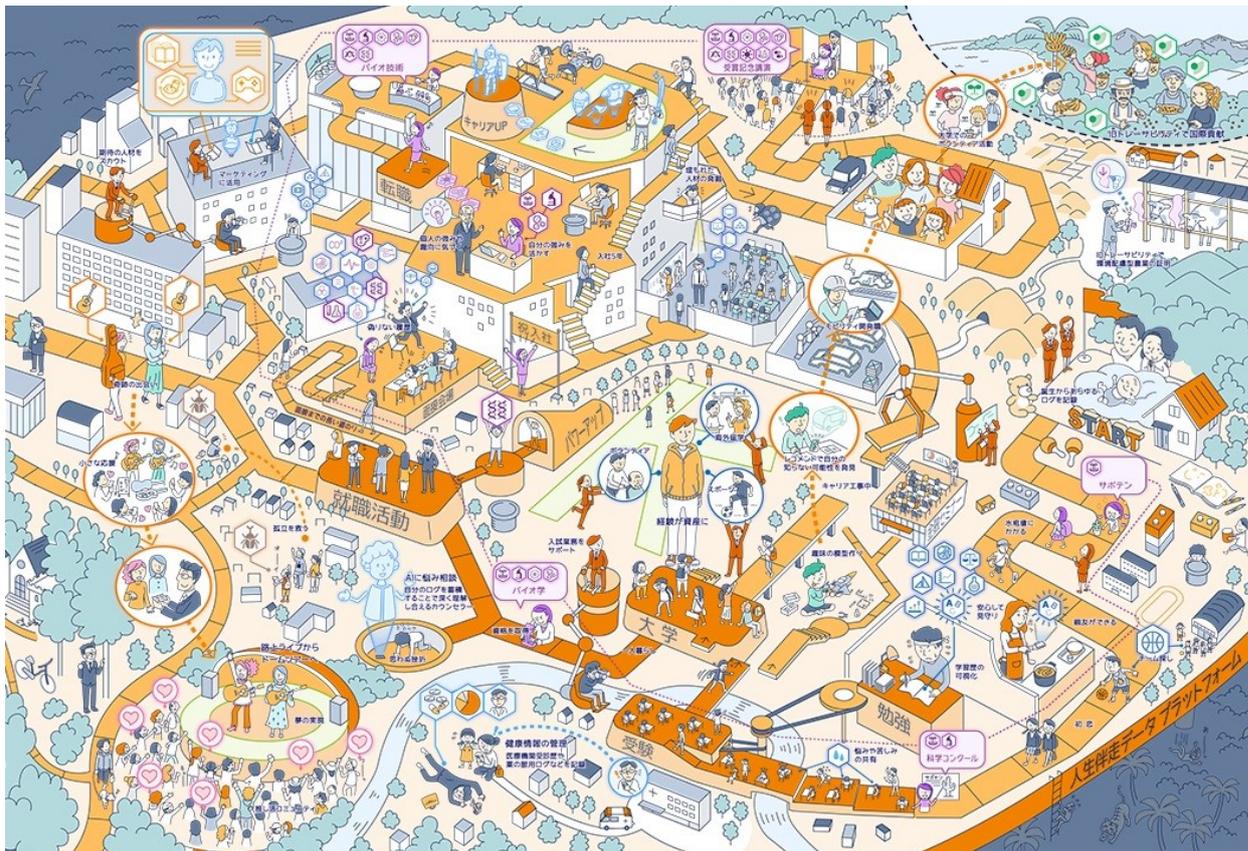
### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られる等、景気は緩やかに回復しております。一方で、物価上昇の継続による個人消費マインドの低下、今後の国内の政治動向や政策の不透明感、米国の通商政策影響等により、景気の下振れが懸念される状況となっております。

情報サービス産業におきましては、企業の収益性向上や人手不足対策等のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）及びAIへの投資は引続き高い水準で推移しております。特に、生成AIの進展は企業内の業務効率化に留まらず社会全体に影響を及ぼしており、業界全体の成長余地は大きいと考えられます。

こうした環境下、当社グループでは、中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「UCARO®を軸としたデータビジネス推進」「M&A・アライアンスの推進」「研究開発成果のビジネス展開加速」「子会社合併効果の最大化及びCABUILD構想の成功」「重点エリア・顧客層の拡大」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

その方策として、大学生のための情報発信メディア『大学生の歩き方』を2025年4月にオープンいたしました。留学、インターンシップ、ボランティア、イベント情報等、豊かな大学生活をおくるための多様な選択肢や、学生生活に役立つ情報を集約・発信するポータルサイトであります。日常の様々な体験や実績をNFT(※1)としてデジタル化・蓄積する『アブデミー®』の活用により、『大学生の歩き方』を通じて得られたあらゆる活動実績や学びが、ブロックチェーン上で信頼性高く記録され、個人の成長ストーリーを表現し、新しい価値や個性を可視化することが可能となります。また、株式会社ポトス（以下、「ポトス」という。）にて、地方自治体におけるインターンシップや上場企業における新卒採用支援案件の受託を実現しております。将来的には、グループ全体で、「学歴・資格」等だけではなく多様な体験が個人の価値として、大学入試や留学、就職活動等に活用できる世界観の実現を目指してまいります。以下は、当社グループのビジョンマップであります。



重点課題にある『CABUILD』とは、連結子会社であるポトスとNINJAPAN株式会社（以下、「NINJAPAN」という。）が共同で提供する就職・採用支援サービスであります。採用支援サービス『キャリアポート』を提供してきたポトス、高い就職内定率を誇る戦略就活塾『Abuild®就活』を提供してきたNINJAPAN、それぞれの強みを掛け合わせることで実現できる新サービスであり、近年の就活市場・新卒採用市場の課題解決に貢献できると考えております。

主力の教育業務においては個別収益管理の徹底を基本に、近年のコスト増などを踏まえた価格の適正化に継続して取り組んでおります。また、『アプデミー®』において、分散型台帳を用いたNFT等のデジタルバッジやDAO（分散型自立組織）（※2）、生成AI等といったWeb3.0技術の研究開発に引き続き取り組んでおり、今後も基礎研究技術を活かしたサービスの開発・拡充を図ってまいります。

業績面では、前連結会計年度に連結子会社となったNINJAPANの売上寄与があったものの、前連結会計年度にあった医療関連サービスにおける臨床検査基幹システム開発の剥落や証券業務における制度改正対応等開発の剥落影響等により、売上高は1,008,475千円（前年同四半期比 4.6%減）となりました。新サービスの販促費用発生等により、営業損失は210,443千円（前年同四半期は営業損失186,991千円）となりました。また、経常損失は186,232千円（同 経常損失161,414千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は146,886千円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失123,324千円）となりました。

**当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第1四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第1四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスではありますが、通期では当該マイナスは解消されております。**

売上高の内訳は次のとおりであります。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント毎の記載に代えてサービス別の内訳を記載しております。

<システム運用>

前連結会計年度に連結子会社となったNINJAPANの売上寄与等により、943,840千円（前年同四半期比 3.4%増）となりました。

<システム開発及び保守>

医療関連サービスにおける臨床検査基幹システム開発の剥落や証券業務における制度改正対応等開発の剥落等により、59,807千円（同 57.0%減）となりました。

<機械販売>

医療システム用タブレットライセンス料の減少等により、4,827千円（同 4.7%減）となりました。

（※1）NFT：

Non-Fungible Token の略語。ブロックチェーン上でその唯一性が保証されているトークンであり、暗号的にその保有や来歴を証明することが可能です。

（※2）DAO（分散型自立組織）：

運営会社や取締役会等の中央管理者を置かず、参加者全員で意思決定を行う組織を指します。組織管理の観点ではガバナンスの透明性や組織・財産の管理や執行コストの低減につながることで、また経営の観点ではトークンによる経済圏の生成を通じて持続的な成長へつながることが期待されています。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて802,186千円減の8,451,648千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて597,001千円減の2,352,151千円となりました。これは主に未払法人税等の納付による減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて205,185千円減の6,099,496千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2025年4月30日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,273,321	4,310,118
売掛金及び契約資産	2,450,880	597,165
仕掛品	1,940	155
その他	116,878	175,856
貸倒引当金	△2,314	△484
流動資産合計	5,840,706	5,082,811
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	94,371	90,771
工具、器具及び備品（純額）	56,365	58,001
リース資産（純額）	44,215	34,753
有形固定資産合計	194,953	183,526
無形固定資産		
のれん	304,455	296,016
ソフトウェア	955,947	870,558
ソフトウェア仮勘定	193,399	228,867
その他	11,214	10,926
無形固定資産合計	1,465,017	1,406,368
投資その他の資産		
投資有価証券	1,183,723	1,159,923
繰延税金資産	253,291	307,444
差入保証金	169,069	168,673
その他	147,072	142,900
投資その他の資産合計	1,753,157	1,778,941
固定資産合計	3,413,128	3,368,836
資産合計	9,253,834	8,451,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	256,940	111,205
短期借入金	381,366	351,363
リース債務	37,734	28,882
未払金	79,449	48,790
未払費用	112,898	159,305
未払法人税等	219,633	10,430
賞与引当金	139,599	213,088
その他	559,849	353,244
流動負債合計	1,787,471	1,276,309
固定負債		
長期借入金	714,405	634,050
リース債務	10,627	9,233
退職給付に係る負債	436,649	432,558
固定負債合計	1,161,681	1,075,842
負債合計	2,949,153	2,352,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	693,900	692,900
利益剰余金	4,771,474	4,583,702
自己株式	△13,429	△13,429
株主資本合計	6,089,145	5,900,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,535	199,122
その他の包括利益累計額合計	215,535	199,122
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,304,681	6,099,496
負債純資産合計	9,253,834	8,451,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,057,333	1,008,475
売上原価	919,327	818,943
売上総利益	138,006	189,531
販売費及び一般管理費	324,997	399,974
営業損失(△)	△186,991	△210,443
営業外収益		
受取利息	8	126
受取配当金	17,868	20,017
受取手数料	240	234
保険解約返戻金	9,418	4,424
その他	132	780
営業外収益合計	27,667	25,583
営業外費用		
支払利息	929	1,310
為替差損	1,161	—
その他	—	62
営業外費用合計	2,091	1,372
経常損失(△)	△161,414	△186,232
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△161,414	△186,232
法人税、住民税及び事業税	5,691	7,269
法人税等調整額	△43,781	△46,615
法人税等合計	△38,089	△39,346
四半期純損失(△)	△123,324	△146,886
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,324	△146,886

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△123,324	△146,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,807	△16,413
その他の包括利益合計	54,807	△16,413
四半期包括利益	△68,517	△163,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,517	△163,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	138,595千円	124,883千円
のれんの償却額	2,378	8,438